

JR東海労ニュース

No.1114

2008年9月10日

JR東海労働組合

要求を勝ち取ろう！シリーズ④

旅客からの暴力被害は120件！

フォロー体制は万全とし制度としての確立を否定！

本部は9月10日、協約・協定改訂に向け第4回団体交渉を行い、労働条件・職場改善についての22項目について議論を行ないました。しかし会社は、すべての項目について改善する考えはないとして、極めて不誠実な内容に終始しました。

年休の取得については、前年度の取得日数が17～18日であることを明らかにし、全国の平均取得日数9日と対比して好条件であることを強調しました。しかし、年休を失効する社員は現に存在し、現場の実情・感覚とはまったく違う認識とで対立しました。

また、一方的な休日出勤については、早期解消のスタンスは変わらないとしながらも、この間、示してきた対策を越えた内容のものは何もなく、解消の目処も明らかにしませんでした。そして、近年増え続ける旅客からの暴力については、対応マニュアルは整備されており、被害届や告訴、慰謝料請求はあくまでも社員個人であり、会社はそのフォローをするとして、会社が全面に出て対応するように求めた制度の確立を否定しました。

第4回団体交渉開催！

みんなの力を結集し、働きやすい職場を実現するために奮闘していきましょう。